

断や社会的マナー、さらには、望ましい食習慣の形成など、すべての教育の出発点であります。

家庭がその機能を十分に発揮するためには、親自らが、友人や地域、高齢者などとの交流の中から子育てや幼児教育について学ぶことが必要であります。

このため、『家庭教育学級』の充実を図るとともに、新たに子ども教育に関する参考図書やビデオを収集した『家庭教育ライブラリー』を開設いたします。



家庭教育学級作品展

青少年の健全育成

今日、青少年の状況に目を向けたとき、ボランティア活動や国際貢献などに取り組む青少年が増加する一方、凶悪な事件の増加、無自覚な消費行動、社会的マナーの欠如、ひきこもりなどさまざまな問題が深刻化

するとともに、新たな問題として若者の社会的自立の遅れが指摘されています。

教育委員会としては、さまざまな学習機会や青少年の交流機会と場をとらえて、この地に根を張った青少年活動が展開されるよう、まずは、市内の青少年活動を担う人材の育成を根気強く進めてまいりたいと考えております。

青少年の非行問題については、犯罪の低年齢化・広域化が進む一方、凶悪・粗暴といった重大な問題行動を起こす事例が増加しております。学校・家庭・地域が密接な連携のもと、青少年の非行防止に向けての取り組みを進めることが必要であります。

このため、青少年補導センターの活動の充実を図るとともに、『大型店等万引防止連絡会議』や『生徒指導担当者会議』などとの連携を深めてまいります。



大型店等万引防止連絡会議

文化・スポーツの振興

昨年から、関係団体や市民のみなさんの参画を得て、新たな時代にふさわしい文化・スポーツ振興のためのガイドポストづくりに取り組んでおります。

文化振興計画にあつては、市民のみなさんが自主的・主体的にふるさとの文化創造に関わり、文化活動や文化を育む環境づくりがどうあるべきなのか、また、スポーツ振興計画にあつては、生涯スポーツ振興の観点から各スポーツ団体において計画のフレームづくりなど議論を進めております。

今後は、これらの議論を受けとめるとともに、参加されているみなさんと協働して、16年度中に成案を得たいと考えております。

社会教育施設

ふおれすと鉱山は、今年、開設3



ふおれすと鉱山

年目を迎えましたので、これまでの活動を検証するとともに、一層『人と自然のふれあい拠点』として市民のみなさんに活用していただけるよう努めてまいります。

また、国有林の一部を活用して、自然とのふれあいを通じた体験学習など、新たなプログラムづくりを進めるとともに、今年度から、北海道によるネイチャーセンター周辺の保安林整備事業がスタートいたしますので、整備内容について地元の意見が反映されるよう図ってまいります。



おわりに

以上、平成16年度の教育行政執行に関する主要な方針について申し上げます。市民のみなさんのご理解とご協力を心からお願いいたします。